

□講義科目（専門科目）

科目名	多職種連携実践Ⅰ	2単位	
担当者	山内 哲也（非常勤教員）認定社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士		
テーマ	福祉の実践事例から多職種連携・地域連携について学ぶ		
開講形態	全回ハイブリッド形式		
科目のねらい	<p>&lt;キーワード&gt; 多職種連携 多業種連携 地域連携 重層的支援 地域包括ケア 多職種連携教育</p> <p>&lt;内容の要約&gt; 地域における各種事例の問題解決や福祉資源・地域づくりの多職種連携・地域連携の実践報告から「専門家の協働」「地域の連携」「有限な資源で最大限の成果を生み出す『やりくり』」について考え、多職種連携の課題と方法を学びます。 各領域の実践家による実践報告、学生との討議などから総合的に学ぶ教育方法をとります。土曜日午後に開講し、平日多忙な人や遠隔地の人も参加しやすい配慮をします。また、広く市民も受講できるよう一般公開します。</p> <p>&lt;学習目標&gt; ・多様なニーズへの対応、専門性の向上、地域づくりに必要な「多職種連携」について学び、実践力を高めることができる。 ・自分自身の問題意識、関心にひきつけ、他の実践事例から有効な実践・思考フレームを構築して応用できる。</p>		
授業の 進め方	<b>5月18日（土）</b>		
	1限	実践に活かす多職種連携教育-ケースメソッドの有効性-	宇佐美千鶴（社会福祉士）
	2限	地域包括ケアにおける社会福祉士・ケアマネの役割	近藤芳江（認定社会福祉士）
	3限	ピアスーパービジョン 討論と担当教員のまとめ	山内哲也
	<b>6月29日（土）</b>		
	1限	多職種連携の本質的課題解決に向けて -法人内連携（医療・介護）・リハビリネット・行政連携の実践-	小久保 充（理学療法士）
	2限	多職種で支える意思決定支援-訪問看護の現場から-	渡邊和子（看護師）
	3限	ピアスーパービジョン 討論と担当教員のまとめ	山内哲也
	<b>8月31日（土）</b>		
	1限 13:25-14:55	1限	多職種で取り組む意思決定支援-身寄りのない方への支援-
2限 15:05-16:35	2限	司法福祉実践における多職種連携	嶽崎貴史（社会福祉士）
3限 16:45-18:15	3限	ピアスーパービジョン 討論と担当教員のまとめ	山内哲也
<b>11月16日（土）</b>			
1限	災害福祉と多職種連携-地域連携から広域連携まで-	佐々木 薫（社会福祉士、保育士）	
2限	個人開業による対人援助職の実践と多職種連携	原田 亘（社会福祉士、公認心理師）	
3限	ピアスーパービジョン 討論と担当教員のまとめ	山内哲也	
<b>12月14日（土）</b>			
1限	地域の中の居場所づくり -地域をゆるくつなぐ-	火口弥生（社会福祉士）	
2限	都市型複合施設の地域まちづくり-地域連携・越境学習-	野村美奈（介護福祉士、保育士）	
3限	ピアスーパービジョン 討論と担当教員のまとめ	山内哲也	
事前学習の内容学習上の注意	指定した参考文献は事前に読んでおくとよいです。		
本科目の関連科目	福祉サービスマネジメント概論		
テキスト	テキストは使用しません。必要に応じて資料を配布します。		
参考文献	多職種連携の技術—地域生活支援のための理論と実践 野中猛 中央法規 多職種連携を高める チームマネジメントの知識とスキル 篠田道子 医学書院 専門職連携教育プログラム 柴崎智美・米岡裕美・古谷牧子他 ミネルヴァ書房		
成績評価方法と基準	毎回の小レポート 40点、最終レポート 60点で 100点満点。総合評価により 60点以上を合格とします。		